

1 世界史上の経済を中心とした歴史について述べた以下の問1～3の文章を読み、下線部(1)～(12)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを1つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

問1 人間社会の歴史を狩猟、牧畜、農耕、商業という4段階の生計手段に対応させて位置づける考え方が広く行われてきた。しかし、古代オリエント世界では遊牧や灌漑農業と内陸部の交易が同時に行われていたし、古代地中海世界でも、フェニキア人やギリシア人による海上交易が盛んだったことを考えると、必ずしもこれらの経済活動が歴史的発展段階をなしてはなかっただろう。また、古代ギリシアや古代ローマの社会が都市を基盤として営まれたことも、古来商業の果たした役割が大きかったことを示している。

- (1) この地域について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① ハビロニアでは、大河の水資源を大規模な治水・灌漑工事によって利用したハンムラビ王の王朝が全メソポタミアを支配したが、この王朝はヒッタイト人によって滅ばされた。
- ② ナイル川を利用した農業で繁栄したエジプトの様子は、ストラボンが「エジプトはナイルのたまもの」という言葉によってよく知られている。
- a ①-正 ②-正 b ①-正 ②-誤
c ①-誤 ②-正 d ①-誤 ②-誤
- (2) この民族による海上交易や経済について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① アケメネス朝ペルシアの支配下に入り、その保護を受けつつ交易を継続・拡大した。
- ② 同じセム語系のアラム人が内陸交易で活躍したのに対して、海港都市シドンなどを拠点とした。
- a ①-正 ②-正 b ①-正 ②-誤
c ①-誤 ②-正 d ①-誤 ②-誤
- (3) これらの社会の都市について、誤っている説明はどれか。
- a アレクサンドロス大王は、各地にアレクサンドリアというギリシア風の都市を建設し、ギリシア人の入植を促めた。
- b ギリシアとローマの植民市は、母市と同じ都市国家の一部となった。
- c ビザンティオンはギリシア人植民市だった。
- d アップリア街道は、ローマとブルンディシウムという都市間を結ぶ道路である。

問2 ヨーロッパでは、8世紀のカルル大帝のころから荘園制と呼ばれる所領経営方式が広まり、農業経済中心の社会が営まれた。11世紀以降には、気候も温暖化して農業は発展期を迎えた。開墾が進んだ結果、生産拡大は人口増加をもたらし、村落共同体のもとで三圃制が運営されて、現在のヨーロッパの農村の景観はこの頃に形成された。またこのような動向はイベリア半島や東ヨーロッパにも拡大していった。他方、このころから余剰農作物を販売する都市の商業も発展期に入った。こうして「都市の世紀」と呼ばれる13世紀に入ると、ヨーロッパ社会の重心は農村から都市へ移行した。経済のみならず文化においても都市中心の社会のあり方は、現在に至るまで続いている。

- (4) カール大帝について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① 父であるカルル・マルテルは、ウマイヤ朝の侵略軍を撃破して、カロリング家の威信を高めた。
- ② ヴァイキングの侵略を打ち破り、北海・バルト海沿岸地域にまでフランク王国の版図を拡大した。
- a ①-正 ②-正 b ①-正 ②-誤
c ①-誤 ②-正 d ①-誤 ②-誤
- (5) 中世ヨーロッパの荘園制に当てはまらない用語はどれか。
- a 貨幣地代 b 重量有輪車
c ヨーマン d 領主直営地
- (6) この地域の動向について、正しい説明はどれか。
- a エルベ川以東の地域における東方植民のためにドイツ騎士団が結成され、その中心的役割を担った。
- b ブリュージュはハンザ同盟に属して、北ヨーロッパ商業圏で繁栄した。
- c ブルガリア帝国はローマ・カトリックを受容していたが、14世紀にオスマン帝国に支配されるに至った。
- d リトアニア人は、ドニエプル川流域までを含む領域を支配した。
- (7) 中世ヨーロッパの都市について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① 12世紀には、都市を舞台として活動するフランチェスコ修道会が発展した。
- ② 百年戦争開始時には、イングランドはフランドル諸都市の毛織物製造のための原毛の供給地だった。
- a ①-正 ②-正 b ①-正 ②-誤
c ①-誤 ②-正 d ①-誤 ②-誤
- (8) 中世ヨーロッパの都市における文化を代表するのが大学である。この大学について、正しい説明はどれか。
- a 12世紀に成立したボローニヤ大学は、法学研究で知られた。
- b 神学はもともと基礎的な科目として、自由七科の一つに含まれていた。
- c スコラ学のスコラとは、大学を指している。
- d バリ大学は、バリ司教を長としつつも、教授と学生の自治的団体として始まった。
- 問3 大航海時代の航路開拓の結果、16世紀以降のヨーロッパの国際商業の中心舞台は地中海から大西洋沿岸地域へと移った。大西洋を介してヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカの間で人や物資から動植物、伝染病に至るまでさまざまなものが相互に移動したことは「コロンブス交換」とも呼ばれる。ヨーロッパにとっては植民地交易の対象だったが、中南米の社会のあり方を根本的に変えてしまった。産業革命は、インドの綿織物に対する対応を直接の契機としてイギリスで始まったが、19世紀にはアメリカ産の棉花を原料とするようになったという点で、これもまた大西洋をめぐる経済世界に組み込まれていたと言える。
- (9) 以下にあげるものなかで、アメリカ大陸原産ではないものはどれか。
- a カカオ b コーヒー
c ゴム d タバコ

10) これについて述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。

- ① セビリヤは、スペインの大西洋交易の中心的な港湾都市として繁栄した。
 ② ラテンアメリカで産出した銀は、主にアカプルコ港からヨーロッパに運ばれた。
- a ①=正 ②=正 b ①=正 ②=誤
 c ①=誤 ②=正 d ①=誤 ②=誤

11) これについて、誤っている説明はどれか。

- a 強制的使役や疫病によって先住民が激減してしまった結果、アシエンダと呼ばれる先住民を用いた大農場は放棄された。
 b クリオリョと呼ばれる植民地生まれの白人は、19世紀の独立運動の中心となった。
 c コルテスは、現在のメキシコシティにあたるアステカ王国の首都を占領して、同王国を滅ぼした。
 d スペインは、アシエンタというアフリカ奴隷供給のための請負契約を他国の商人と結んでいた。

12) 18世紀までのインドについて、正しい説明はどれか。

- a イギリス東インド会社は、カーナティック戦争に勝利してベンガル管区を拡大した。
 b ヒンドゥー教に帰依したアウラングゼーブ帝に対して、イスラムのマラーター王国が台頭した。
 c ブクサル（バクサル）の戦いに勝利したイギリスは、インド北東部のディーワーニー（徴税権）を獲得した。
 d マイソール戦争の勝利により、イギリスはインド北部の支配を確保した。

2) 国際連合安全保障理事会における拒否権について述べた以下の文章を読み、下部設問(1)～(13)に関する問いについて、a～d ないし a～f の選択肢の中から答えを1つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

	中国	フランス	イギリス	アメリカ	ロシア	合計
1946-55	1	0	0	0	80	81
1956-65	0	2	3	0	26	31
1966-75 ⁽¹⁾	2	2	10	12	7	33
1976-85	0	9	11	34	6	60
1986-95	0	3	8	24	2	37
1996-2005	2	0	0	10	1	13
2006-2015	4	0	0	3	10	17
2016-2024	10	0	0	8	26	44

出典：https://research.un.org/en/docs/sc/quick をもとに作成。

上の図表は、国際連合の安全保障理事会において、常任理事国が拒否権を利用した回数を表したものである。図表では便宜上、中国、ロシアとしているが、前者は、1971年までは中華民国、後者は1991年12月まではソヴィエト社会主義共和国連邦が拒否権を行使した回数を示している。

図表から明らかなように、1965年までは、ロシア(ソ連)の拒否権行使回数突出して多い。その多くは、新規加盟の妨害を目的とするものであったが、最初の拒否権は、レバノンとシリアからの外国軍の撤退⁽⁴⁾に関して行使された。一方、アメリカ合衆国は1972年に初めて拒否権を行使したが、そこから1995年までの拒否権行使回数は、常任理事国5カ国の中で群を抜いている⁽⁶⁾。その多くは、パレスチナに関わるものである。フランスとイギリスは、スエズ危機(第二次中東戦争)について共同で拒否権を行使したほか、南アフリカやナミビア問題でも行使した。1989年12月23日を最後に、この両国は拒否権を行使していない⁽¹⁰⁾。また、フランスは、ジェノサイド、人道に対する犯罪、大規模な戦争犯罪については、拒否権行使を控えるよう呼びかけているが、現在までのところ、これに同調したのはイギリスのみである。

中国とロシアによる拒否権行使の回数は、やや増加傾向にあるように見える。これらは、主としてシリアをはじめとする中東地域に関わる行使である。これらに加え、ロシアは、ウクライナや核不拡散に関わる問題で拒否権を行使した^{(12)~(13)}。

(1) 1966-75年の間に起きた出来事について述べた次の文①～③が、年代の古いものから順に正しく配列されているのはどれか。

- ① 全欧安全保障協力会議(CSCPE)でヘルシンキ宣言を採択⁽⁷⁾
 ② 西ドイツとポーランド国交正常化
 ③ フランスの五月危機
- a ①→②→③ b ①→③→②
 c ②→①→③ d ②→③→①
 e ③→①→② f ③→②→①

(2) 日ソ関係について、誤っている説明はどれか。

- a 日本は、ドイツ・イタリアとの間で軍事同盟を結んだのち、ソ連と中立条約を締結した。
 b モンゴル人民共和国とソ連の国境付近で日本・ソ連間の大規模な軍事紛争が起こった。
 c ヤルタ会談で、ドイツ降伏後のソ連の対日参戦が決定した。
 d 1956年、日ソ共同宣言によって戦争終結を宣言し、国交を回復した。

- 3) ソ連の解体までの出来事について述べた次の文を古いほうから時代順にならべた場合、3番目にするのはどれか。
- アフガニスタンからのソ連軍の撤退が完了した。
 - エリツィンが、ロシア共和国の大統領に選ばれた。
 - ソ連共産党保守派によるクーデタが失敗した。
 - 大連門事件の直前、ゴルバチョフが北京を訪問し、ソ連と中国の関係が正常化した。
- 4) ソ連の対外政策について、誤っている説明はどれか。
- アデナウアー政権下の西ドイツと国交を樹立した。
 - キューバにミサイル基地を建設した。
 - ハンガリーでカーダール政権が成立すると、軍を派遣して親ソ政権を樹立させた。
 - ベルリンの米・英・仏3か国の管理区域を封鎖した。
- 5) シリアについて、誤っている説明はどれか。
- カルドゥン公会議で異端とされた単性論が、シリアの教会に受け継がれた。
 - 第二次世界大戦中に独立した。
 - フアイサルを国王として、独立を宣言した。
 - フランスの委任統治下で、シリアから分離したレバノンが自治を認められた。
- 6) アメリカ合衆国憲法について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① 人民主権の共和政を基礎とした。
- ② ワシントンを議長とし、フィラデルフィアで開催された憲法制定会議で制定された。
- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| a | ①-正 | ②-正 | b | ①-正 | ②-誤 |
| c | ①-誤 | ②-正 | d | ①-誤 | ②-誤 |
- 7) パレスチナについて、誤っている説明はどれか。
- 急増するユダヤ人移民に対する現地アラブ人の不満が高まり、1930年代に大反乱が起きた。
 - パレスチナ解放を掲げるイスラーム急進派のハマース（「イスラーム抵抗運動」）が、民衆の生活を助けて支持を広げた。
 - 1980年代後半、イスラエル軍に投石などで対抗するパレスチナの民衆による抵抗運動が起こった。
 - 1980年代末に、パレスチナ解放機構（PLO）が主導する暫定自治政府が成立した。
- 8) フランスの首相や大統領について、正しい説明はどれか。
- エリオは、ルール工業地帯の武力占領を開始した。
 - クレマンソーは、パリ講和会議でドイツへの厳しい制裁を求めた。
 - ド＝ブールは、議会の権限が強い第五共和政憲法を成立させた。
 - 社会党のミッテランは、1980年代に、主要産業や銀行の民営化を進めた。
- 9) イギリスの首相について、誤っている説明はどれか。
- サッチャーは、福祉政策路線への転換を行った。
 - デイズレーリは、スエズ運河会社の株の一部を買収した。
 - ピットの呼びかけで、対仏軍事同盟が結成された。
 - マクドナルド率いる挙国一致内閣は、金本位制を停止した。

- (10) 中東戦争について、正しい説明はどれか。
- パレスチナ戦争で、国連のパレスチナ分譲案に基づくイスラエル建国を認めないアラブ諸国が敗れ、分割案に従って、イスラエルの領土支配が確定した。
 - 第三次中東戦争で、イスラエルが、シナイ半島・ガザ地区・東エルサレムを含むヨルダン川西岸とゴラン高原を占領した。
 - 第三次中東戦争では、イスラエルとエジプト・シリア・イランが6日間戦った。
 - 第四次中東戦争では、ソ連がイスラエルを武器援助で支援し、エジプト・シリア両軍は敗れた。
- (11) 南アフリカについて、正しい説明はどれか。
- オランダ東インド会社が建設したケープ植民地は、ウィーン会議でイギリスに割譲された。
 - ケープ植民地首相ローズは、帝国主義政策を推進して、南アフリカ戦争を引き起こした。
 - 白人政党政首のデクラーク大統領は、人種差別隔離政策を強化した。
 - 南アフリカ連邦は、20世紀前半にイギリス連邦を離脱した。
- (12) ウクライナについて述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① 1922年、ロシア・ウクライナ・ベラルーシ（白ロシア）・ザフカフカースの4共和国によって結成されたソヴェト社会主義共和国連邦が成立した。
- ② 1991年12月、ウクライナでの独立に関する住民投票の実施後、ロシア・ウクライナ・ベラルーシ（白ロシア）は、共同体創設に合意した。
- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| a | ①-正 | ②-正 | b | ①-正 | ②-誤 |
| c | ①-誤 | ②-正 | d | ①-誤 | ②-誤 |
- (13) 核兵器について、誤っている説明はどれか。
- アインシュタインとラッセルが中心となり、湯川秀樹ら著名な科学者が加わって、核兵器廃絶と戦争禁止を訴えた声明を発出した。
 - トルーマンが、日本に対する原子爆弾の使用を許可した。
 - フランスは、1960年、アメリカ・ソ連・イギリスに次いで4番目の核保有国となった。
 - モスクワで、ブレジネフとニクソンが、戦略兵器削減交渉（第一次START）を行なった。

3 騎馬遊牧民の活動とそれともなう東西交流について述べた以下の問1～2の文章を読み、下線部(1)～(13)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

問1 紀元前3世紀後半に、騎馬遊牧民に統合の気運が高まり、タリム盆地東部に月氏が進出し、モンゴル高原に匈奴が現れた。匈奴は前3世紀末に即位した王の時代に最盛期を迎え、シルクロード東部の交易路を安定させた。一方、月氏は前2世紀に西遷し、一説には後1世紀、中央アジアから西北インドにまたがるクシャーナ朝をたてた。匈奴は漢を圧迫しその後共存関係に入ったこともあったが、1世紀半ばに漢の攻勢を受けて南北に分裂した。3世紀には遊牧民の活動が再び活発となり、鮮卑や匈奴を含む「五胡」が華北に進出し、4世紀以後、定住民とまじりあいながら次々と政権を樹立した。仏教は後漢期にシルクロードを通じて中国に伝来し、南北朝に社会に根を下ろした。

- (1) タリム盆地について、誤っている説明はどれか。
- a スウェーデン人ヘーデンが樓蘭の遺跡を発見した。
 b 中国はタリム盆地以西の中央アジアを西域と呼んだ。
 c 武帝がこの地に汗血馬という良馬を求めた。
 d 盆地周縁部に、古代にはクチャ、ホータンなどのオアシス都市が点在していた。

- (2) この王の名はどれか。
- a 大附栄 b 冒頓単于 c 耶律大石 d 完顔阿骨打

- (3) 月氏の西遷は何を契機としたか。
- a アレクサンドロス大王の東方遠征
 b エファタルの侵攻
 c 漢の武帝の遠征
 d 匈奴の攻撃

- (4) クシャーナ朝について、正しい説明はどれか。
- a チャンドラグプタ王によって創始された。
 b ドラヴィダ系の人々がタミル語の仏典を結集(編纂)した。
 c 人々の救済よりも自身の悟りを重視する菩薩信仰が広まった。
 d ヘレニズム文化の影響を受けた仏像が作成された。

- (5) 匈奴の王に嫁いだ王昭君を題材にした戯曲はどれか。
- a 『漢宮秋』 b 『紅樓夢』 c 『西遊記』 d 『長恨歌』

- (6) 五胡について、誤っている説明はどれか。
- a 匈奴の劉淵による漢(前趙)の建国が五胡十六国時代の始まりとされる。
 b 晋の八王の乱の混乱が五胡の華北侵入を加速させた。
 c 鮮卑から出た拓跋珪が北魏を建国し、北魏は5世紀に華北を統一した。
 d チベット系の羌は青海地方を原住地とし、東方に進出して前秦を建てた。

- (7) 中国への仏教の浸透について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① カシミール地域出身の鳩摩羅什は、長安で大乗經典を漢訳した。
 ② 北魏時代に造営された雲崗の石窟群にはガンダーラ様式・グプタ様式の影響が見られる。
- a ①-正 ②-正 b ①-正 ②-誤
 c ①-誤 ②-正 d ①-誤 ②-誤

問2 10世紀初め、半農・半牧の契丹がモンゴル高原に強力な国家を築き、西方に進出して草原の道をおさえ、東方では渤海を征服した。12世紀に契丹がツングース系の金に滅ばされた後、契丹の王族が中央アジアに逃れて新たな国を作ったため、遊牧諸勢力の間に再編の動きが強まった。1206年に君主に即位したチンギス・カンは諸部族を統一して大モンゴル国をたて、さらにその子孫たちが征服活動を継続したことにより、中央ユーラシアとその東西にモンゴル人の政権が並び立ち、ユーラシアの東西の統合が実現した。それにより人・モノ・情報の移動が活発化し、東西の知識も統合された。

- (8) 渤海について、正しい説明はどれか。
- a 九品中正により豪族が官職を独占した。
 b 広開土王の時代に勢力を広げた。
 c 首都を慶州におき、新羅と同盟を結んだ。
 d 日本との間に使節の往来があった。

- (9) 金について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① 漢人には州県制を、女真人には部族組織を基礎にした猛安・謀克制を適用した。
 ② 宋の都臨安を占領して徽宗などの皇族たちを捕虜として北方に連れ去った。

- a ①-正 ②-正 b ①-正 ②-誤
 c ①-誤 ②-正 d ①-誤 ②-誤

- (10) この王国の名はどれか。
- a カラ・ハン朝 b 西夏 c 西遼 d 大理

- (11) 大モンゴル国について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① 王公や官庁から牌子を受けた者は宿駅で宿泊・食事・馬の交換ができた。
 ② カン(ハン)の選出などの重要事項は有力者を集めたクリルタイで合議した。
- a ①-正 ②-正 b ①-正 ②-誤
 c ①-誤 ②-正 d ①-誤 ②-誤

(12) モンゴル人の征服戦争について述べた次の事件①～④が、年代の古いものから順に正しく配列されているものはどれか。

- ① アッバース朝の滅亡
 ② 西夏の滅亡
 ③ 南宋の滅亡
 ④ 文水の役
- a ①→②→③→④ b ①→③→②→④
 c ②→①→④→③ d ②→④→①→③

- (2) 一因干渉について、誤っている説明はどれか。
- 「三国」のうち2ヶ国は、同盟関係にあった。
 - 清は下関条約締結以前に干渉の情報を察知していなかった。
 - 清は以後、ロシアとの関係を強化した。
 - ロシアとドイツとフランスによる干渉である。
- (3) これ以前の日清関係について述べた次の文を古いほうから時代順にならべた場合、3番目にくるのはどれか。
- 朝鮮の漢城で起こった甲申政変で、日清の軍事衝突が生じた。
 - 朝鮮の漢城で起こった壬午軍乱で、日清双方が派兵した。
 - 天津で日清修好条規を締結した。
 - 日本が清の反対を押し切り、琉球藩を廃して沖縄県を置いた。
- (4) 租借地について述べた次の文①と②の正誤の組合わせとして、正しいものはどれか。
- 1898年にフランスは広州湾を占領して、翌年に租借地とした。
 - 第一次世界大戦後の1919年にドイツの租借地は中国に返還された。
- ①-正 ②-正
 - ①-正 ②-誤
 - ①-誤 ③-正
 - ①-誤 ②-誤
- (5) 新界および香港について、誤っている説明はどれか。
- 香港島とその対岸の九龍半島先端部は、1842年の南京条約でイギリスに割譲された。
 - イギリスは新界租借の期限が満了した年に香港を返還した。
 - 香港は1997年の返還時に高度な自治が定められた。
 - 香港国家安全維持法は、2020年に制定施行された。
- (6) このときの中国における列強の勢力範囲について、誤っている説明はどれか。
- 清の知識人の多くは、事実上の中国分割とみなして危機感を強めた。
 - 大半の勢力範囲は、実効性はなく名目的なものであった。
 - 日本は勢力範囲を有していなかった。
 - 列強は獲得した租借地や鉄道・鉱山の利権を中心に勢力範囲を設定することが多かった。
- (7) 戊戌の変法と政変について述べた次の文①と②の正誤の組合わせとして、正しいものはどれか。
- このときの改革には、科挙の改革・学校教育の普及が含まれている。
 - 西太后により光緒帝は幽閉されたが、康有为は日本に亡命した。
- ①-正 ②-正
 - ①-正 ②-誤
 - ①-誤 ②-正
 - ①-誤 ②-誤
8. 義和団について、誤っている説明はどれか。
- 義和団と連合した清軍は、北京で外交官をはじめ外国人を攻撃した。
 - 当時、山東省を所轄する高官だった袁世凱は、義和団を支持してかれらを北京に送りこんだ。
 - 賠償金4億5000万両は、当時の清政府の歳入の4倍以上の額である。
 - 北京議定書で、北京周辺の外軍の駐屯権が認められた。
- (9) 梁啓超の著述について、空欄アにあてはまる文として誤っているものはどれか。
- わが国民の愛国心が(中略)薄弱なのは、まぎれもない事実である。
 - 数千年にわたって国を建てていながら、今日まで国名がない。
 - 法律の前に平等であり、(中略)国に対する権利及び義務に対して平等である。
 - 国家の主人がだれかといえば、その国の国民にはかならない。
- (10) 光緒新政について、誤っている説明はどれか。
- 科挙を廃止して、留学生を盛んに派遣した。
 - 軍隊の再編を行って、近代的な装備と編成の新軍を設けた。
 - 外国企業に対抗する実業振興で、民間企業の発展を後押しした。
 - 1905年、憲法大綱を定めるとともに、国会と地方議会の前身を設置した。
- (11) 朝鮮王朝と大韓帝国について述べた次の文を古いほうから時代順にならべた場合、3番目にくるのはどれか。
- 安重根が韓国統監の伊藤博文を暗殺した。
 - 急進改革派の金玉均が政変を起こしたが、失敗して日本に亡命した。
 - 攘夷派の兵士が大元君を擁立して、閔氏政権を打倒した。
 - ハーグの万国平和会議で、日本の支配強化に抗議した。
- (12) 日露戦争について、誤っている説明はどれか。
- 戦場になった清は、局外中立を保った。
 - 日本は苦戦しながらも旅順や奉天を占領した。
 - 戦争後のポーツマス条約で、日本は中国にあるロシアの租借地と鉄道利権をすべて譲渡された。
 - 戦争後、日本は第2次日韓協約を強要して韓国を保護国とした。

{以下余白}